

剣淵高校のキャリア教育

北海道剣淵高等学校
校長 中 谷 晋 二

1 学校概要

(1) はじめに

本校は昭和26年に北海道士別高等学校剣淵分校として設置を認可され、その後、農業高校として幾多の変遷を辿りながら、平成21年度には町立の1間口高校ながら、総合学科に学科転換した。地域の基幹産業である「農業」と、基本施策である「福祉」のスペシャリスト育成という大きな責務を担う本校は、総合学科高校として多様な学びに対応する選択科目を設定するとともに、「農業国際」と「生活福祉」の2つの系列による専門教育を主軸とした特色ある教育活動を実践している。

(2) 学校教育目標（目指す生徒像）

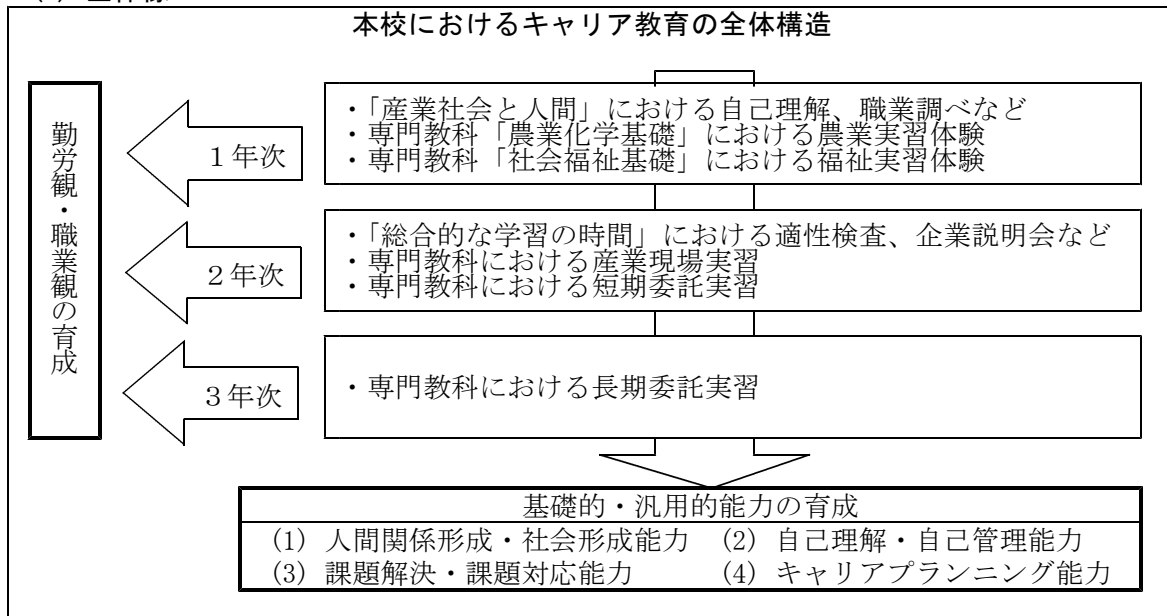
- 自ら学ぶ意欲を育み、積極的に行動する力を育てる
- 責任感を養い、互いに助け合う心を育てる
- 心身を鍛え、明るく豊かな人間性を育てる
- 勤労を尊び、郷土の発展につくす態度を育てる

(3) 系列と特徴

- ア 農業国際系列：安全・安心な「農業」と「食」を求めて、栽培から食卓までのフードシステムを体系的に学習し、社会における自己実現の在り方を学ぶ。
- イ 生活福祉系列：高齢化社会に求められる様々な生活シーンに対応した介護の知識や技術を実践的に学習し、社会における自己実現の在り方を学ぶ。

2 本校のキャリア教育

(1) 全体像



(2) 「産業社会と人間」における取組

- ア 自己理解、職業・上級学校調べ、科目選択の考察

ワークシートを中心とした学習であるが、系列や科目選択の理解を深めるために、上級年次の授業見学や授業体験も実施している。

イ 農業・福祉の基礎学習

農場での実習、町内福祉施設での実習を体験させる。専門科目とも連携し、それぞれの基礎・基本の習得を深める。

ウ ライフプラン

年度末には一年間の「産社」のまとめとして、進路実現に向けたライフプランの発表会を実施している。

(3) 地域性を素材とした取組

ア 系列横断的取組

剣淵町の施策である「福祉」の人材育成を担う介護福祉士養成校として、系列に関係なく介護職員初任者研修の資格取得を可能としている。



【福祉施設における介護実習】

イ 各系列の特色を生かした取組

(7) 産業現場実習（農業）

基本的な人間関係形成、社会形成の能力を培うとともに、職業的技能等の学びを通し、自己理解や自信の獲得をねらいとしている。主に、町内の農業関連企業を中心に、5日間のインターンシップとして実施している。

(4) 短期委託実習（農業）

町内の先進農家において10日間、学校農場では体験できない経営規模・生産形態で実習を経験する。地域の基幹産業である農業に関する実践的学習の場であり、コミュニケーション能力育成の機会でもある。



【小学生との田植え作業】

(7) 校種間連携（農業）

町内の保・小・中学校との連携学習として、菜園づくりや田植え、鉢花栽培に取り組んでいる。本校生が指導者となり学習を進め、異年齢交流を通して好ましい人間関係の形成を図っている。

(1) 短期委託実習（福祉）

町内及び近隣市町の福祉施設において、10日間の福祉実習を実施している。食事・排泄・入浴・移動など介護福祉士としての基礎的な技術を学ぶとともに、コミュニケーション能力を要求される機会でもある。

(4) 成果と課題

ア 成果

委託実習はキャリア教育における基礎的・汎用的能力の育成に大きな効果があり、特に社会性やコミュニケーション能力の向上が顕著である。また、地域での体験学習や実習を通して、地域理解が深まり、学習意欲の向上が見られる。

イ 課題

委託実習が単なる労働力となったり、農作業や介護スキルへの期待が優先されてしまうことがあるため、受入れ先とのキャリア教育に関する共通理解や連携が一層求められる。